

# 感染症情報 4月29日～5月12日

## 4月29日から5月5日分

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	470例(堺市	7例)
②手足口病	166例(堺市	9例)
③溶連菌感染症	127例(堺市	7例)
④RSウイルス感染症	92例(堺市	5例)
⑤みずぼうそう	46例(堺市	2例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	266例(堺市	8例)
---------	---------	-----

## 5月6日から5月12日分

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1047例(堺市	58例)
②溶連菌感染症	448例(堺市	54例)
③手足口病	207例(堺市	13例)
④咽頭結膜熱	132例(堺市	17例)
⑤伝染性紅斑	131例(堺市	10例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	192例(堺市	11例)
---------	---------	------

が報告された。大型連休があり、特に4月29日から5月5日の週は単純比較できない。

感染症報告数は4月29日から5月5日までがその前週より69%減の1,041件で、5月6日から5月12日までが2,289件であった。

インフルエンザは府下では4月29日から5月5日までと、5月6日から12日までの2週連続で定点あたりの報告数が1.00を下回り、数値的には非流行期となった。

5月6日～5月12日の週に麻疹の報告が1例(堺市はなし)あり、年始からの累計は135例となった。

同期間に風疹の報告が1例(堺市はなし)があり、年始からの累計は114例となった。